

2. 分野別状況 (2) 地域活性化総合特区 ② ライフ分野

	総合評価 (IとIIとIIIを1:1:2の割合で計算)	I	II	III	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
		目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
さがみロボット産業特区 (神奈川県)	4.2	4 進捗度 ・特区発ロボットの商品化状況 108% ・実証実験等の実施件数 145% ・生活支援ロボットの導入施設数 144% 等	4 規制の特例等 ・医療機器製造販売承認等の手続の円滑化(薬事法) 等 地域独自の取組 ・「セレクト神奈川NEXT」等による企業誘致の促進等	4.3	<ul style="list-style-type: none"> 生活支援ロボットの開発等に新規参入する企業数についてはやや伸び悩みがあるが、実際のロボット開発や商品化、導入が順調に伸びていることは高く評価できる。生活支援ロボットにより事業者や家族の負担が減るなどの影響があったかどうかについても評価可能であれば検討をお願いしたい。 取組目標達成において、若干のバラツキが見られるが、全般的には十分な実績があがっていると思われる。 多様な場面で生活支援ロボットの開発・実装が進められている。実装の今後としては、導入だけではなく効果検証や持続可能性など実生活への適用について更なる検討を期待したい。 社会情勢に応じた新たな取組を実施した点を高く評価したい。生活支援ロボットを真に普及させるためには多くの供給側企業の参加が不可欠であることから、評価指標(3)の目標達成に向け継続的な一層の工夫に期待したい。